

受益者さま各位

東京海上アセットマネジメント株式会社

弊社公募投資信託の4月2日付の基準価額の下落について

下記の弊社公募投資信託の4月2日付の基準価額が前営業日比で5%以上下落いたしましたので、その状況についてご報告いたします。

記

ファンド名	基準価額 (円/1万口)	前営業日比 (円)	騰落率 (%)
東京海上・世界ヘルスケアREITファンド(毎月決算型)	6,950	▲ 727	▲ 9.47
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(年1回決算型)	8,614	▲ 895	▲ 9.41
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン(毎月決算型)	7,320	▲ 753	▲ 9.33
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン (為替ヘッジあり)(年1回決算型)	7,416	▲ 748	▲ 9.16
東京海上・グローバルヘルスケアREITオープン (為替ヘッジあり)(毎月決算型)	6,553	▲ 655	▲ 9.09
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) メキシコペソコース(毎月分配型)	5,008	▲ 499	▲ 9.06
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 豪ドルコース(年2回決算型)	17,017	▲ 1,687	▲ 9.02
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	6,124	▲ 606	▲ 9.00
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) メキシコペソコース(年2回決算型)	7,920	▲ 765	▲ 8.81
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(毎月分配型)	7,735	▲ 736	▲ 8.69
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) インドネシアルピアコース(年2回決算型)	19,919	▲ 1,887	▲ 8.65
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(年2回決算型)	13,535	▲ 1,270	▲ 8.58
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) ブラジルリアルコース(毎月分配型)	3,255	▲ 304	▲ 8.54
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 米ドルコース(年2回決算型)	11,974	▲ 893	▲ 6.94
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)	9,664	▲ 717	▲ 6.91

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 円コース(年2回決算型)	18,086	▲ 1,198	▲ 6.21
東京海上 J-REIT 投信(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)	10,879	▲ 717	▲ 6.18
東京海上・米国政策関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	6,456	▲ 355	▲ 5.21
東京海上・米国政策関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	6,566	▲ 346	▲ 5.01

※騰落率については税引前分配金を再投資したもとして計算しています。

※本日、決算日のファンドについて

本日分配金をお支払いしたファンドについては、前営業日比の数値は分配金のお支払いを含めた表示となっております。

<基準価額下落の背景>

※4月2日付の対象ファンドの基準価額の下落は、4月1日の海外市場、J-REIT市場の値動きによるものです。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と、それによる世界の経済活動への悪影響の深刻化・長期化に対する警戒感の高まりを背景に、株式やREITなどのリスク性資産の値動きが大きい状況が続いています。

1日の海外市場は、米国のトランプ大統領が新型コロナウイルスの国内での感染拡大を受けて、先行きに対し厳しい認識を示したことや、ISM製造業景況感指数が好況と不況の境目である50を割り込んだこと等から下落しました。

同日のヘルスケアREIT市場も、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えない状況下、3大REITの一角であるベントスが一部保有施設について家賃の延滞を認める通知を出すなど今後の収益動向が懸念されたことや、健康面でリスクの高い高齢者向け施設をかかえるヘルスケアREITへの売り圧力が高まったことから、大幅に下落しました。

1日のJ-REIT市場は大幅な下落となりました。新型コロナウイルスの感染拡大への懸念に加えて、米国の複数のモーゲージREITが足もとの不動産ローン担保証券の急落を受けて資金調達先から追加証拠金を要求されるなど、債務不履行リスクが生じたとメディアが報じたことから、リーマンショック時にもみられたような信用リスク懸念が一部で強まりました。

また、新年度を迎えて機関投資家による損失確定の売り等によりJ-REITが機械的に売却されたことなど、ファンダメンタルズ面および需給面からの複数のマイナス要因が重なったことから、大幅下落となりました。

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

<今後の見通し>

今後の見通しに関しては、新型コロナウイルスの感染状況、および各国・政府による政策動向に左右される展開が続くとみています。

こうした状況下、一部市場参加者の中には、すでに金融市場においては相当程度の悪材料は織り込まれたという見方も浮上しつつあります。

しかし、そうした一部市場参加者の見方の根底には、「今回の社会的な混乱のピークは4月中旬から下旬であり、その後は徐々に状況が安定する」という見方が存在していると考えられ、今回の新型コロナウイルスによる社会・経済の混乱状況の長期化までは想定されていないものと考えられます。

今後の中長期的な世界経済やグローバル金融経済市場動向を見るうえでは、向こう2～3週間が重要な局面になりつつあると考えられ、こうした中において、弊社としては市場動向や各国・地域の政府、金融当局の動向を注視してまいります。

<J-REIT 指数の騰落率 2020年4月1日(3月31日終値比)>

指数	終値	騰落率
東証 REIT 指数	1,498.06	▲6.1%

<海外主要指数の騰落率 2020年4月1日(3月31日終値比)>

指数	終値	騰落率
S&P500 種指数	2,470.50	▲4.4%
ナスダック総合指数	7,360.58	▲4.4%
ユーロ・ストックス 50	2,680.30	▲3.8%
FTSE100	5,454.57	▲3.8%
FTSE EPRA/NAREIT Developed Healthcare Index(米ドルベース)	1,026.60	▲10.1%

<対円為替相場騰落率 2020年4月2日(4月1日比)>

通貨	為替レート	騰落率
米ドル	107.50 円	▲0.1%
ユーロ	117.63 円	▲0.9%
英ポンド	133.32 円	▲0.2%

※為替レートは三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値。

出所：ブルームバーグ

以上

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託にかかるリスク・費用について

■投資信託にかかるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等値動きのある証券に投資をしますので、これらの組入資産の価格下落等や外国証券に投資する場合には為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資信託は、預貯金や保険と異なります。また、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

■投資信託にかかる費用について

【投資者が直接的に負担する費用】

- 購入時 …購入時手数料 上限 3.3%(税込)
- 換金時 …信託財産留保額 上限 0.5%

【投資者が間接的に負担する費用】

- 運用管理費用(信託報酬) …上限 年率 2.035%(税込)
※ファンド・オブ・ファンズでは、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。
- その他の費用・手数料 …監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用等
※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前に表示することができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

<ご注意>

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、東京海上アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。費用の詳細につきましては、個別の投資信託毎の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。投資信託にかかるリスクや費用は、投資信託毎に異なりますので、投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

■ご留意事項

- 当資料は、東京海上アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に掲載された図表等の内容は、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券等(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

設定・運用は

東京海上アセットマネジメント株式会社

ホームページ: <https://www.tokiomarineam.co.jp> サービスデスク: 0120-712-016(受付時間: 営業日の 9:00~17:00)

商号等 : 東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 当資料は、投資信託の運用状況を開示する目的で作成したものであり、証券の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■ 投資信託は、株式や債券など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。